

<p>公益財団法人 8020 推進財団</p> <p>平成 24 年度 歯科保健活動助成 交付事業報告書抄録</p>	
1. 事業名	： 転倒予防教室 社協健康講座
2. 申請者名	： 社団法人茅ヶ崎歯科医師会 会長 北村信行
3. 実施組織	： 社団法人茅ヶ崎歯科医師会 茅ヶ崎市役所
4. 事業の概要	<p>茅ヶ崎市すこやか健康プログラム計画の中の、転倒予防教室を通じて茅ヶ崎市民に対して口腔機能の環境を整えることの重要性を説明し理解を得る。</p> <p>市民向けの摂食嚥下講演会を開催し、介護関係事業者等に対しても口腔環境の整備の重要を認識してもらうことを目的とした。</p>
5. 事業の内容	<p>(1) 茅ヶ崎市から委託を受けた茅ヶ崎市社会福祉協議会が実施している転倒予防教室のうち 6 回に茅ヶ崎歯科医師会は参加した。</p> <p>(2) 65 歳以上の方で介護認定の対象にならず、あくまでも予防の効果が期待できる人が対象。歯科医師会が要介護状態とならないために今だからできること、口腔の健康維持が全身の健康維持につながる重要性を説明。</p> <p>時間については限られた時間確保できた時間に歯科に対する内容の中で出来るだけ興味を引き、わかりやすいように行うことを工夫して行った。</p> <p>(3) 「かみ合わせと運動能力との関係」からいかに歯を残すことが重要かということの説明し、また義歯を使用している人に対しても、同じ観点から義歯の使用が運動能力に関与することを述べ、今後年齢が進むにつれ、筋力を維持するのと同じように口腔環境を整えることの重要性を再認識させた。</p> <p>(4) 摂食嚥下講演会を開催。</p> <p>一般市民とともに多くの介護事業に関わっている方の参加も認められ、今後の摂食嚥下障害に対する関心の高さを感じた。</p>
6. 実施後の評価	<p>残存歯数が多い人、定期的に歯科健診を受けている人ほど年間総医療費が低い傾向があるという報告もある。口腔の健康状態を維持することの重要性を多くの方に周知させる方法として、地域に密着した地域歯科医師会が今回のように既存の活動に参加し、繰り返しの情報発信がより重要となってくるものと思われた。</p>